

(新) 広範な関係者の参加による魅力的な国立公園づくり推進事業

42百万円(0百万円)

自然環境局国立公園課

1. 事業の概要

近年の環境保全に関する社会全体の関心、例えば、よりよい景観を求める動き(景観法の成立)や環境保全活動への参画意識などが高まるにつれ、国立公園に求められる役割・期待も多岐にわたってきている。また、三位一体改革による国立公園に関する国と地方の新たな役割分担により、利用者の安全確保にも責任が増大している。

そのため、広範なニーズを反映した、国立公園を軸とした地域連携・活性化を推進するとともに、安全・快適な国立公園づくりを進める。

(1) 「国立公園の新たな運営戦略(仮称)」の策定

国立公園運営の基本的考え方、運営プログラムに盛り込むべき内容、作成方法等を示した指針を策定。

(2) 各国立公園で「国立公園戦略的運営協議会(仮称)」を設置、「国立公園戦略運営プログラム(仮称)」を策定

各公園の一団の地域ごとに、学識者、地元自治体、公園事業者、利用者の代表等の関係者による多様な主体の参画の場を確保。協議会において、運営プログラムを策定し、協議会構成員が連携・分担して景観形成など魅力ある公園づくりを実施。

2. 事業計画

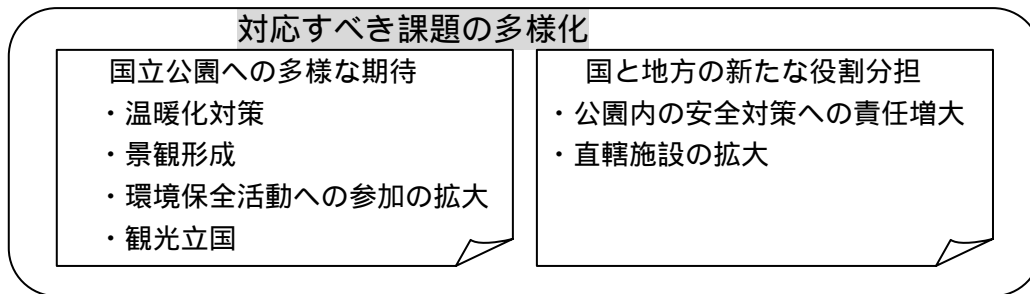
18年度	基礎的資料や事例の収集、利用者と公園内の住民の意識調査、利用者の運営管理への参加手法の検討、運営の分担方法の整理等を行い、運営戦略を作成、各公園で協議会の設置準備
19~20年度	各公園で協議会を設置、プログラムを策定、実施

3. 施策の効果

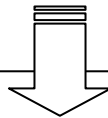
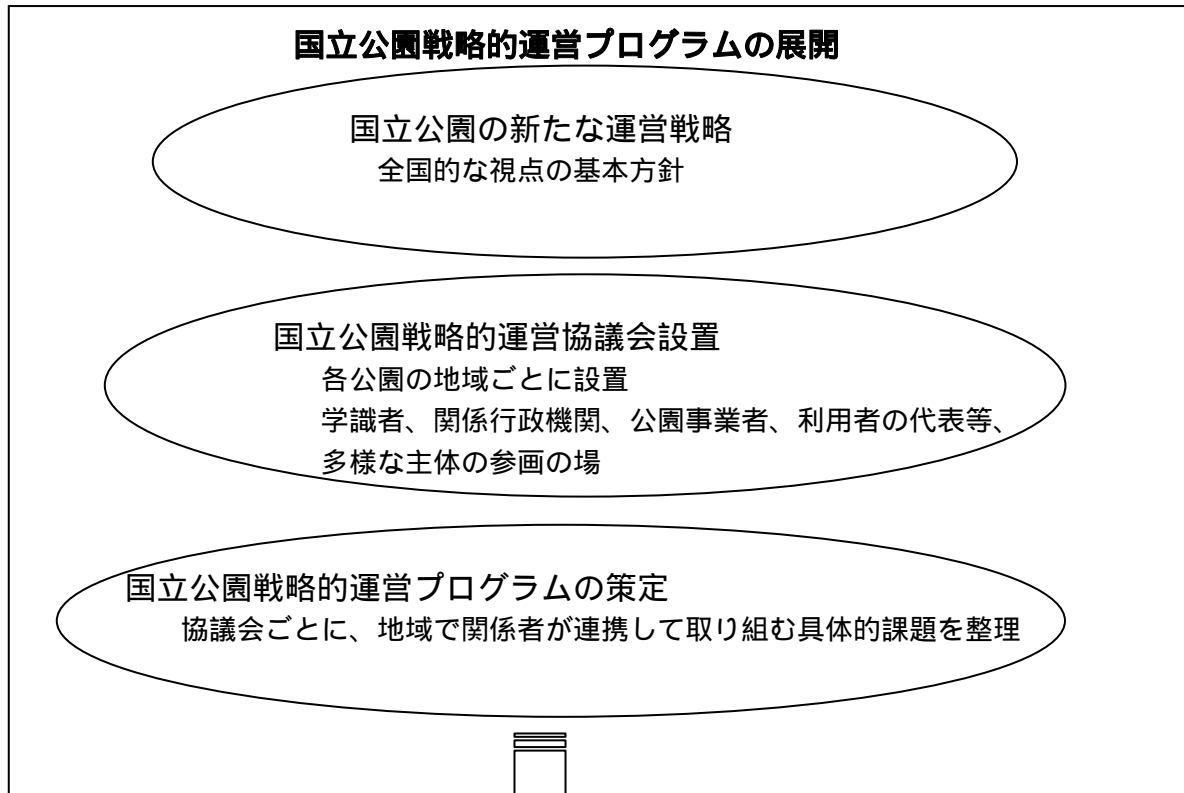
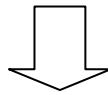
国立公園の戦略的な運営体制を確立し、景観形成など幅広い環境問題や風格のある国土づくりへの対応を促進。

利用者のニーズを的確に反映し、多様な主体の参画を得て、自然公園等事業、グリーンワーカー事業などを組み合わせ、公園管理水準を向上。

国立公園戦略的運営の推進

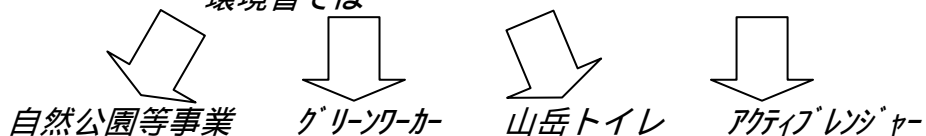


多様な課題、ニーズに対応して施策を総合的に展開し、広範な関係者との連携・分担による地域活性化が急務



協議会参加者が役割分担して、取組

環境省では・・・



国立公園を核として景観形成、観光立国を推進